

4 プランの位置づけと期間

▷ Point.....◁

- SDGs で、既存の計画と計画に基づく各種施策・事業を補完
- 基本 3 年ごとに改訂。ただし、取り組み状況や社会情勢等により見直す

(1) プランの位置づけと性格

対馬市の最上位計画である「第2次対馬市総合計画」と、政策分野別の基本計画、そしてそれらの計画に基づく施策・事業を SDGs の特徴(環境・社会・経済の調和と同時解決性)から補完し、各施策・事業の効果を高め、持続可能なしまづくりに資するような横断的計画として、この SDGs アクションプランを位置付けています。

2020 年 7 月の SDGs 未来都市の選定を受け、同年8月に「対馬市 SDGs 未来都市計画」を策定していますが、この計画は、アクションプランで示す重点アクションや仕組みづくりの一部を、先に示したものとなっています。この計画では、作成作業の短さから市民をはじめ各主体の意見を集約できておらず、アクションプランはその反省のもと、市民等の意見や有識者の助言を踏まえた計画づくりに努めました。したがって、このプランは、SDGs 未来都市計画を補強するものであり、SDGs 未来都市計画は3年ごとに改訂されるため、最終的にはアクションプランへの統合を目指します。

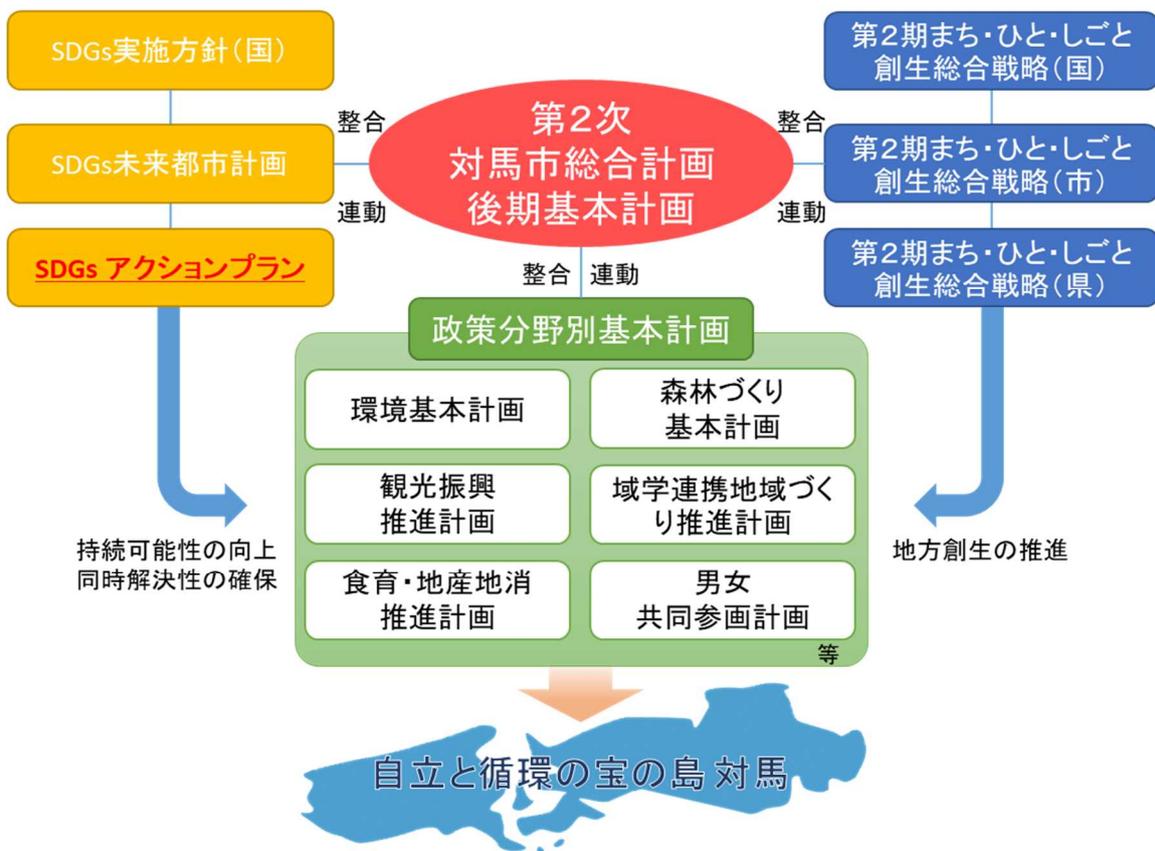


図7 SDGs アクションプランの位置づけ

(2)プランの期間

SDGsは2030年までに達成すべき世界共通目標であり、このアクションプランも2030年までを期限とします。2030年を節目としますが、2030年はこの先も暮らし続けられるための通過点であり、2050年の未来を見据えたプロセスとして位置づけ、2030年の後の「ポストSDGsアクションプラン」の検討も将来的に想定しています。

2030年までのアクションプランの見直しの間隔について、前述のとおり、SDGs未来都市計画は3年ごとに改訂されるため、SDGsアクションプランとの統合を目指し、2030年まで3年スパンで改訂します。

基本的には3年ごとですが、地球温暖化が加速化する等、様々な問題がより速く深刻になっている今日、目標を前倒して達成する勢いでスピード感をもって行動することが重要です。したがって、このアクションプランも刻々と変化する島内外の社会情勢に柔軟に対応し、随時、行動や仕組みの追加・修正を行います。

社会情勢だけでなく、「SDGsカフェ」等での市民意見やSDGsアドバイザーボードでの専門的助言を踏まえながら、順応的に見直しを行います。

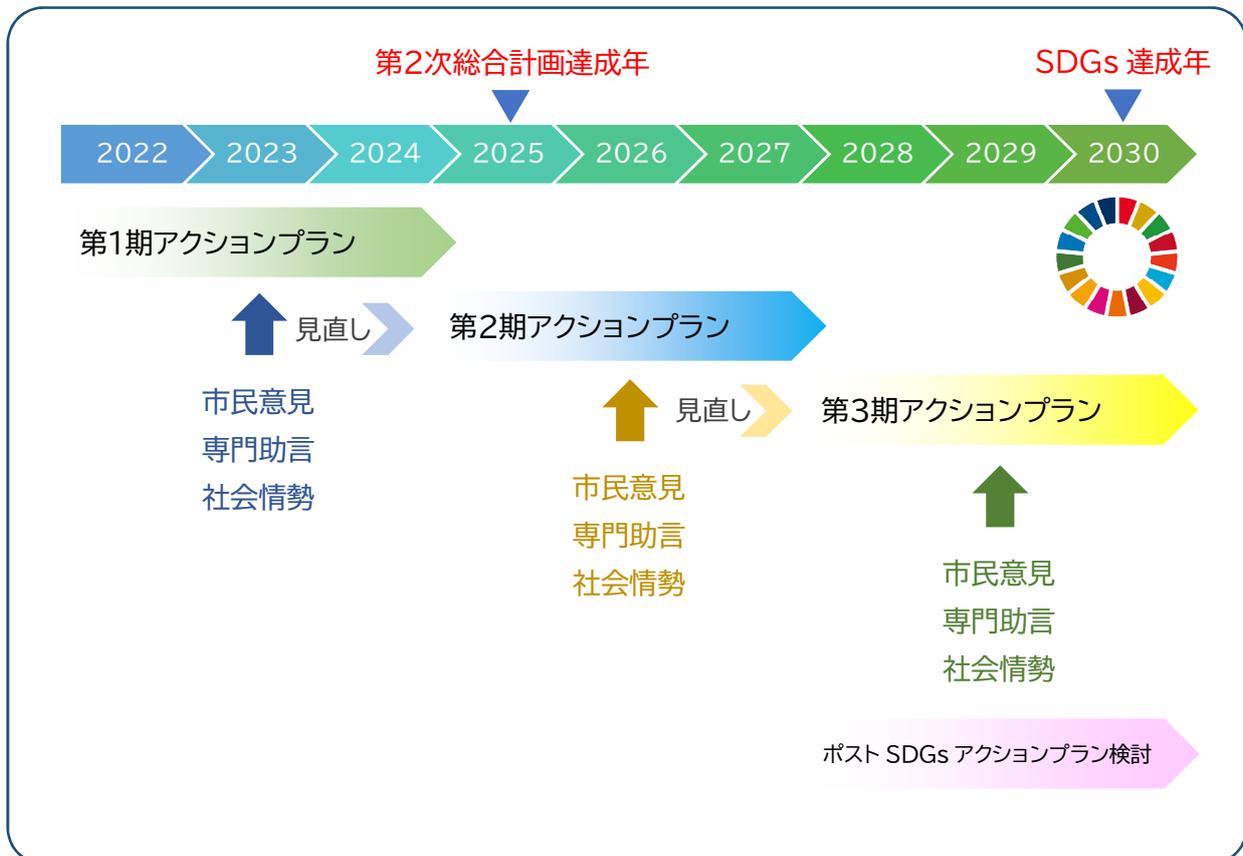


図8 SDGsアクションプランの期間